

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第719号]

2013

6-7

2・3 特集陳列 平成24年度新収品 4 特別展 和様の書

5 予告 特別展 上海博物館 中国絵画名品展(仮称) 6 予告 京都—洛中洛外園と障壁画の美

6・11 総合文化展 見どころ案内 2013年6月・7月 特集陳列「日本の伝聞 異果園と行違園」 特集陳列「縄文土器に飾られた人物と動物」

特集陳列「断簡—断簡になった経典—」 本館・東洋館・平成館・法隆寺宝物館 11 保存と修理情報 12

12・13 みるくのアート 展覧会と事業 14 特別展「和と千のギャラリー」アート・ミュージアム・アーカイブス・イベント

14 INFORMATION 15 TOPICS 16 東京国立博物館2013年6月・7月展示・催し物



特集
陳列

平成24年度 新収品

本館特別1・2室

2013年
6月25日(火)
—
7月7日(日)

ご寄贈と購入による 六十八件の新収品から、 二十五件をお披露目

かけがえのない文化財を適切な環境で保管し、公開していくことは、博物館の大切な役目です。当館では国立博物館として、日本のみならず日本文化を多角的に考えるうえで重要な東洋各地域をも含めた、多岐にわたる質の高い文化財を保有し、広く公開しています。

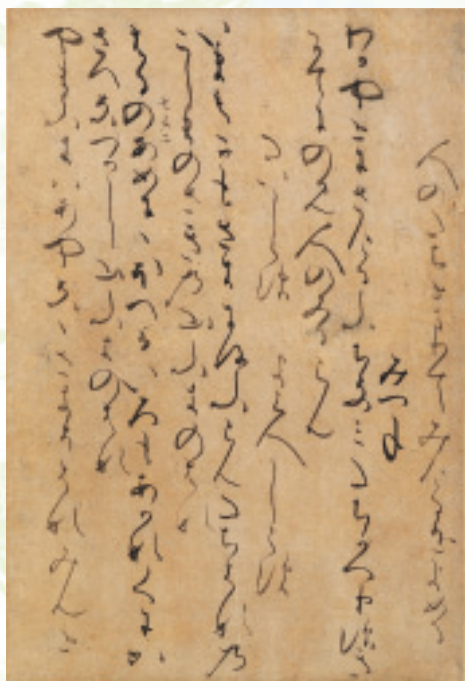
しかし、体系的な展示を行い、必要に応じて深めていくためには、現在の収蔵品だけでは決して

充分とはいえません。そのため当館では、収蔵品の一層の充実を目指して、毎年、良質な文化財の収集を積極的に行なっております。

平成24年度には、多くの方々のご好意により六十三件の文化財を御寄贈いただくとともに、五件の文化財を購入しました。購入に当たっても東京国立博物館賛助会からの賛助金を活用させていただきました。いずれも日本や東洋の文化を探る上で意義のある作品・資料です。

今回はこれらの中から二十五件を展示いたします。新収品を通じて、当館の事業の一端を御理解いただくとともに、日本と東洋の文化のさまざまな側面を伝える品々の多様な魅力を感じていただければ幸いです。

(田良島哲)

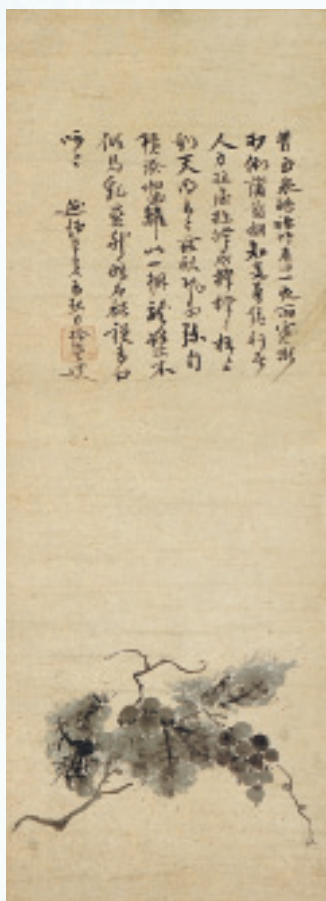


了佐切

藤原俊成筆 平安時代・12世紀 小山やす子氏寄贈
左上の「や」の字など、筆がうねっているのが特徴です

「了佐切」は、元は『古今和歌集』の冊子本で、古筆了佐(一五七二～一六六二)の遺愛の品だったため、この名で呼ばれます。筆者の藤原俊成(一一一四～一二〇四)は、藤原定家(一一六二～一二四一)の父親で、後白河法皇の命により『千載和歌集』を選進したほど、平安時代末期の歌人として著名です。本作は、『古今和歌集』巻一「春歌下」の和歌を書写しています。が、俊成の独特のクセのある筆致がよく表れています。

(恵美千鶴子)



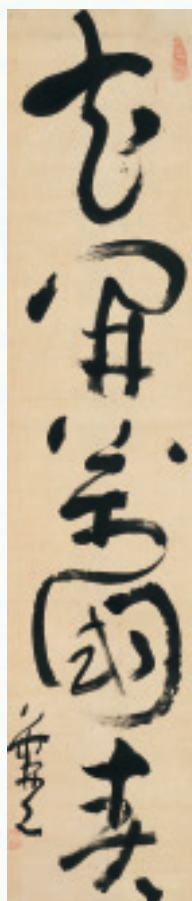
ぶどう 葡萄図

没倫紹等筆 室町時代・延徳3年(1491)
蔓を描く筆が、遊戯するようにクルッと回る様子が目に浮かびます

作者の没倫紹等(？)は、四九二は、一休宗純の弟子で、一休没後に一休を開祖とする大徳寺塔頭、真珠庵の初代住持となった臨済宗大応派の禅僧です。没倫は墨斎と号し、一休同様に水墨画に絵筆を振っていました。没倫自ら書き付けた賛によ

ると、今年の秋は十日も風雨が続いたが、葡萄棚は傾くこともなく多くの実をつけたといえます。そこには、身近な題材を飾らない朴訥とした筆づかいで描く本図の、生活と密着した即興的な制作背景を読み取ることができます。

(救仁郷秀明)



一行書

「花開万国春」

池大雅筆 江戸時代・18世紀 久世民榮氏寄贈
書家としても一流。池大雅の闊達な手跡

画家として名高い池大雅ですが、幼少の頃から書にも優れていました。当時、導入されていた明清の書を学んでいます。それに促されるこ

とのない自由奔放な書風が特色です。この作品は題材にふさわしく華やかな雰囲気を持たえています。

(田良島哲)



つうぞくすい こ でんごうけつひゃくはちにん の ひとり 通俗水滸伝豪傑百八人之一個・ くもんりゅう ししん ちょうかん こちんたつ 九紋龍史進、跳澗虎陳達

歌川国芳筆 江戸時代・19世紀 江森早苗氏寄贈 **本館10室に展示**
「武者絵の国芳」その真骨頂!

昨年度に江森早苗氏から寄贈された「通俗水滸伝豪傑百八人之一個」は、無名に近かった歌川国芳を一躍人気絵師に押しあげたシリーズです。強烈な視覚的刺激が幕末の庶民の間に水滸伝ブームを引き起こしました。反骨精神を背景としたイマジネーションから生み出される梁山泊の英雄達、その力漲る躍動感、国芳の特徴をよく表しています。

本図は、九匹の龍の刺青で知られる史進が山賊の陳達を生け捕る場面です。

同シリーズは、新収品展会場に三枚展示する他、本館10室にも三十八枚展示します。(田沢裕賀)

むじはけ めちゃわん めいふいと 無地刷毛目茶碗 銘 冬頭

朝鮮時代・16世紀 塚越正明氏寄贈
ところどころ「雨漏り」と呼ばれる染みが景色となっています



これは十六世紀に朝鮮半島で作られた器です。高台が高く、全体に丸みを帯びた独特の器形から、祭器であったと推測できます。日本に将来されて茶の湯の碗として重宝されたものです。銘の「冬頭」の由来は明らかではありませんが、優しい温色をたたえつつ、威風があつて力強いたたずまいには、茶人のみならず、現代の私たちの心をも惹きつける魅力が感じられるでしょう。(三笠景子)



しゅうるりん かばん 朱漆輪花盤

室町時代・16世紀
このような輪花盤は、お盆のように上にくつもの天目台を置いて使われていました

中世の社寺で用いられた木製の調度や器には、朱漆を塗ったものが数多く見受けられます。その多くは黒漆を塗った上に朱漆を塗り重ねており、長年の使用によつてところどころ朱漆が摩滅し、下に塗った黒漆が表面に現れています。こつした朱漆器は、用に耐えたあるがままの姿が人間的なもののにはない自然の魅力となつて、特に茶人に好まれ、根来もしくは根来塗とよばれて高く評価されてきました。この輪花盤も、その典型的な一例です。(竹内奈美子)

ユリノキちゃんのワンポイントコーナー

ユリノキちゃん



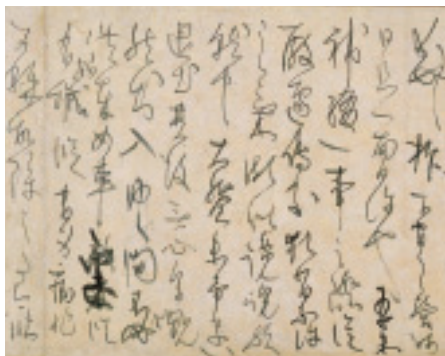
Q どうやって新しい作品を手に入れるの?

- トーハクくん: 「あれほしいほー、これくさーい!」 って言えば手に入るだほ?
- ユリノキちゃん: 「もうー、トーハクくんはあいかわらずのんきなこといっちゃっているのね」
- トーハクくん: 「トーハクでは毎年多くの方々のご好意により作品を御寄贈いただいているのよ。とってもありがたいことね。また、収蔵品が一層充実するように作品を買うこともあるの。限られた予算のなかで何を買うべきか、それが研究や展示のために必要なものかどうか、価

- 格は適切かどうか、研究員の人たちが何度も話し合っているのよ。そのほかに、お寺や個人の所蔵者の方から、作品をお預かりして展示することもあるのよ。そうやって、より充実した展示をめざしているのね」
- トーハクくん: 「ほー、ここに展示してある作品はどれも大変貴重だほー」
- ユリノキちゃん: 「御寄贈いただきました皆様、どうもありがとうございました」



トーハクくん



舞い踊る
墨の飛跡

特別展

The Beauty of
Japanese-style
Calligraphy

和様の書

[わようのしょ]

7月13日(土)―9月8日(日)

平成館

日本人の心と美意識の象徴、和様の書。
その名品が一堂に会する本展の展示作品から、
担当の三人の研究員がおすすめするとっておきの名品。

おすすめ
研究員の
田良島

佐理は王朝貴族失格!? 国申文帖

藤原佐理筆 平安時代・天元5年(982) 春敬記念書道文庫蔵

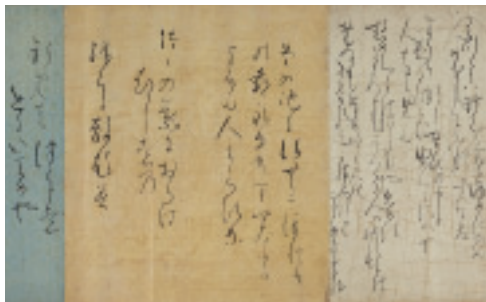
藤原佐理の「国申文帖」は、官僚としての仕事を怠ってすみませんという詫び状ですが、書き間違いは重ね書きして訂正する、抜けた字は横に書き込む、そして「それで詫びているのか!」と突っ込みたくなるような奔放な筆の運びが、当時の公文書の淡々とした筆跡を見慣れた私には印象深いです。何かと細々としたことに気がつかなければならぬ王朝貴族には全然向かなかった、というのにいささか同情するところもあります…。(田良島哲)

おすすめ
研究員の
恵美

料紙の美と散らし書きの妙 重文 古今和歌集卷十三(巻子本)

平安時代・12世紀 文化庁蔵

この「巻子本」は、中国製の唐紙や蠟箋を継いだ豪華な調度手本です。巻子装のため「巻子本」と呼ばれますが、巻子として残っているのは本巻と、国宝「古今和歌集序」(大倉集古館蔵)だけです。特別展「和様の書」では、その両方を御覧いただけます。筆者の藤原定実(元永本)が、この「巻子本」(本展に展示)も書写しています。『古今和歌集』全巻をひとりで執筆しており、仮名の散らし方が単調にならないように工夫しています。(恵美千鶴子)



三跡のひとり藤原行成が、白楽天の「白氏文集」から八つの詩を書き写した。図版左端、軸に巻かれた部分、紙の裏に伏見天皇の花押が見えます

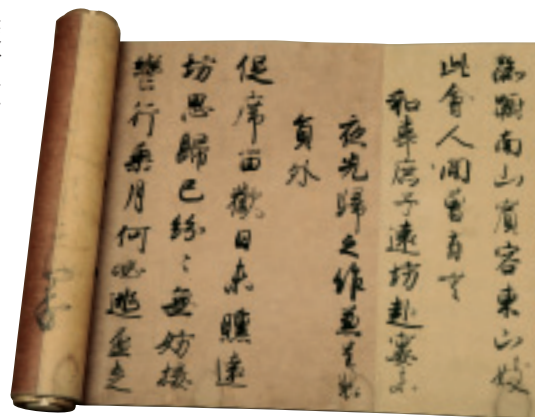
右の白地の部分は仮名が重なり合う程ですが、隣の薄茶地の料紙ではゆつたりのびのびと書かれています

おすすめ
研究員の
高橋

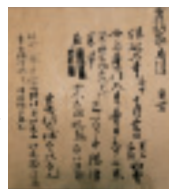
まさに奇跡の一卷 国宝 白氏詩巻

藤原行成筆 平安時代・寛仁2年(1018) 東京国立博物館蔵

淡い茶、清少納言の好んだ白、高貴な淡い紫、という当時の貴族の趣向を反映した色紙と、優美で洗練された行成の書との組み合わせが上品な雰囲気醸し出しています。子孫の藤原定信が、物売の女より偶然購入した経緯や、行成の真筆とする鑑定の結果を記したメモが残っているなど、奇跡としか言いようがありません。能書の伏見天皇が愛蔵し、紙背に加えた花押。かつて国宝「秋萩帖」(本展に展示)とともに伝来したことなど、私にとって最高の書跡です。(高橋裕次)



巻末に定信がこの巻物を手に入れた経緯を記した部分。保延6年10月22日、「物売女」が蓬門から入ってきて手本二巻(一巻は小野道風、一巻はこの本)を売りにきた、とあります



総合文化展で楽しむ和様の書 特集陳列「和様の書—近現代篇—」

7月13日(土)～9月8日(日) 平成館企画展示室

特別展「和様の書」では、平安～江戸時代の作品をご覧いただけますが、和様の書は明治時代以降も受け継がれていきました。ここでは近現代の作品をお楽しみください。

特別展「和様の書」

7月13日(土)～9月8日(日) 平成館

主催:東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

後援:文化庁

特別協力:読売書法会

協賛:光村印刷

協力:あいおいニッセイ同和損保

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

* ()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料。

* 障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

* 前売券の販売は3月14日(木)～7月12日(金)。

* 早割ペア券(2枚1組セットで2,000円)は、3月14日(木)～5月31日(金)の期間限定販売。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展示会公式ホームページ: <http://wayo2013.jp/>

関連イベント

記念講演会

① 7月20日(土) 13:30～15:00

「和様の書」

講師:島谷弘幸(副館長)

② 8月10日(土) 13:30～15:00

「かなから見た和様の書」

講師:高木厚人(読売書法会常任理事・大東文化大学教授)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募者多数の場合抽選)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・希望する講演会番号(①②のいずれか)を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお送りください。

* 1枚の往復はがきで2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先:〒106-8611 東京都港区西麻布2-25-18麻布パレスビル「和様の書」広報事務局・講演会(希望する講演会番号①②のいずれか)係

申込締切:①6月17日(月) ②7月1日(月)必着

席上揮毫会(書のデモンストレーション)

読売書法会を代表する現代書家6名が筆を揮います。書家が書に向かう姿をご覧ください。

日時:8月25日(日) 会場:平成館大講堂(予定)

定員:300名(当日先着順)

① 第1回 10:30～11:30(開場10:00)

佐々木宏遠(読売書法会常任理事、京都橘大学講師)

田頭一舟(読売書法会常任理事、書道笹波会理事長)

山根互清(読売書法会常任理事、正筆会理事長)

② 第2回 15:30～16:30(開場15:00)

岩永栖卿(読売書法会常任理事、書道香環会理事長)

日比野実(読売書法会常任理事、水穂会副会長)

舟尾圭碩(読売書法会常任理事、一東書道会理事長)

連続講座「和様の書」

詳細は本誌12ページ みどりのライオンをご覧ください。

ワークショップ 親子書道教室 三跡に挑戦!

展示会のテーマ「和様の書」をつくり上げた三跡の書の魅力を感じ、書家の指導のもと写してみよう。

日時:8月18日(日) 10:00～12:00

会場:平成館小講堂(予定)

定員:小学生とそのご家族のペア10組 事前申込制(応募多数の場合抽選)

講師:高木聖雨(読売書法会常任理事、大東文化大学教授)、師田久子(読売書法会常任理事)ほか

参加費:無料。ただし、本展覧会観覧券が必要。半券でも可、その場合は当日の入館料が必要

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・お二人の氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお送りください。

申込先:〒106-8611 東京都港区西麻布2-25-18麻布パレスビル「和様の書」広報事務局・親子書道教室係

申込締切:7月22日(月)必着

おとなのためのワークショップ 唐紙の魅力、料紙の魅力

本誌13ページをご覧ください。

特別展

上海博物館 中国絵画名品展

(仮称)

東洋館リニューアルオープン記念

予告

約六百年間の中国絵画の
歴史がつまんだ珠玉の名品展

宋元から明清にいたる中国絵画史を
代表する名画が、上海博物館から一挙
に来日します。

中国では元時代に文人画が完成し、
元末四大家と呼ばれる四人の画家の活躍
で頂点を迎えました。残念ながら日本に
元末四大家の作品は一点も残って
いませんが、今回はこのうち、倪瓚と
王蒙の代表作「漁荘秋霽図」、「青卞隱
居図」が来日します。

また、明代に奇抜な造形を好んだ、
エキセントリック・スクール(奇想派)
の代表的画家・呉彬「山陰道上図」や、
近年ますます注目が集まる奇想派の絵
画も日本で初めて紹介されます。

上海博物館のコレクションにしか許
されない、中国絵画の流れを名品に
よってたどる贅沢な展覧会です。中国
絵画の真髄をお楽しみください。

(塚本磨充)



一級文物 青卞隱居図
王蒙筆 1366年 上海博物館蔵
元代を代表する文人画家・王蒙の代表作で、
中国絵画の規範となりました

特別展
「上海博物館
中国絵画名品展」(仮称)
10月1日(火)～11月24日(日)
東洋館8室

主催:東京国立博物館、上海博物館
総合文化展料金でご覧いただけます。
*障がい者とその介護者1名は無料です。
入館の際に障がい者手帳などをご
提示ください。
お問合せ:
ハローダイヤル 03-5777-8600



一級文物 煙江疊嶂圖卷(部分)
王蒙筆 北宋時代・11～12世紀 上海博物館蔵
美しい淡彩と繊細な描写で仙人の住むような山
水を描いています。上海博物館が誇る至宝中の
至宝

特別展

京都 — 洛中洛外図と障壁画の美

日本テレビ開局60年

予告

古の京都、みやこのにぎわいが今よみがえる。
国宝・重要文化財などの名品が目白押し!

一年に五千万人も観光に訪れる京
都。平安京が定められて千二百年、今
も多くの人々が京都に魅せられていま
す。本展はその京都の四百年前の姿に
注目します。まず天下人が覇を唱えた
時代の京都市中と郊外にある数々の名
所のなかで、人々の暮らしを生き生き
と描き出す「洛中洛外図屏風」によっ
て京都を一望していただきます。

さらに「洛中洛外図屏風」でも、ひと
際大きくとりあげられる権威の象徴、
京都御所、徳川将軍の権力を誇示する
二条城、そして石庭で世界的に知られ
る龍安寺の室内を飾った障壁画を展
示します。当地を訪ねても、今では当
初の絵を目にすることができません。
ぜひ本展に「上洛」して、都のたたずま
いを体験して下さい。(松嶋雅人)

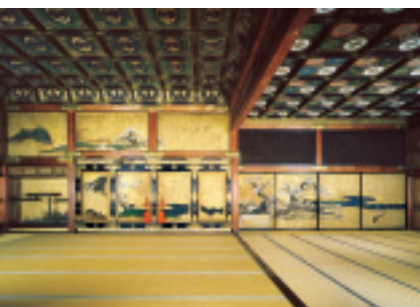


◎二条城二の丸御殿 黒書院一の間、
二の間障壁画 狩野尚信筆
江戸時代・寛永3年(1626) 撮影:岡本茂男
全69面の障壁画を全期間展示

◎洛中洛外図屏風 舟木本(部分)
岩佐又兵衛筆 江戸時代・17世紀 東京国立
博物館蔵
五条橋上の大騒ぎ。お祭りの囃子や町の賑わい
も聞こえてくるようです

日本テレビ開局60年
特別展「京都—洛中洛外
図と障壁画の美」
10月8日(火)～12月1日(日)
平成館

主催:東京国立博物館、
日本テレビ放送網、読売新聞社
観覧料金:一般1,500円(1,300円/
1,200円)、大学生1,200円(1,000円/
900円)、高校生900円(700円/
600円)
*()内は前売り/20名以上の団体
料金。中学生以下無料
*前売券の販売(東京国立博物館正
門チケット売り場のみ(窓口、開館日の
み))は10月7日(月)まで
*障がい者とその介護者1名は無料で
す。入館の際に障がい者手帳などをご
提示ください。
お問合せ:
ハローダイヤル 03-5777-8600
展覧会ホームページ:
<http://www.ntv.co.jp/kyoto2013/>



平成館

10月8日(火)
|
12月1日(日)

注目の特集

注目

仮面の人物が登場する法会は
庶民の娯楽でもあった

特集陳列

「日本の仮面 舞楽面と行道面」

6月4日(火)～8月25日(日)

●本館 14室



舞楽面 探桑老
南北朝時代・14世紀

動くように作られた目の白目部分には水晶が
嵌められています

仮面を着けて演じるということは世界に広くみられる文化です。しかし日本ほど古い仮面が数多く残っている国はないでしょう。平安時代以降、舞楽面、行道面、能狂言面が日本各地の寺社の法会で用いられ、大切に保存されてきたからです。この特集では奈良・手向山八幡宮、愛知・熱田神宮、愛知・真清田神社の舞楽面、石川・重蔵神社の菩薩面、高野山・天野社伝来の行道面などを展示します。探桑老のように中世の遺品がわずかな面、途絶えてしまったためか名称が不明の面も展示します。彫刻的な魅力とともに動作に合わせて動くように工夫した技法にも注目してご覧ください。

(浅見龍介)

注目

縄文土器に
象徴化された人と動物

特集陳列

「縄文土器に飾られた 人物と動物」

7月9日(火)～10月27日(日)

●平成館 考古展示室



右側面

◎人形装飾付異形注口土器

縄文時代(後期)-前2000～前1000年 北海道北斗市茂辺地出土
型破りの形に顔と人形を各々二つ描く稀有な土器

*列品解説7月30日(火)、12ページ参照



正面

縄文時代の人や動物の表現として土偶や動物形土製品などが著名です。その一方で、人や動物を模った装飾を巧みに取り込んだ土器があります。

この特集陳列では土器に施された人や動物の装飾に注目して、容器としての役割をもつ土器とそれらの装飾との関わりについて紹介します。また弥生時代の例も取り上げ、縄文時代との違いを比べ、土器に施された文様や装飾から器に込められた当時の人びとの思いに迫ります。

今回の特集陳列では近年豊富な資料が報告されている山梨県北杜市教育委員会から資料を特別にお借りし、あわせて展示します。

(品川欣也)

注目

絵巻の伝来をめぐる
五つの物語

特集陳列

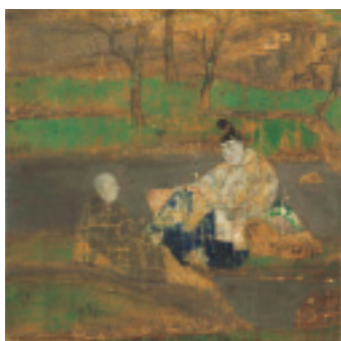
「断簡―掛軸になった絵巻―」

7月17日(水)～8月25日(日)

●本館 特別1室

断簡とは、伝来の過程で一紙、あるいは数紙となった卷子・冊子状の絵巻や書跡を、掛軸(掛幅)などに仕立て直した作品を指します。断簡となることによって、もとの作品名がわからなくなってしまうものも少なくありません。

この特集陳列では、当館所蔵品を中心とした物語絵巻の断簡を五つのテーマから紹介します。もとは一つの作品だった掛幅装の断簡と卷子装の絵巻、また絵巻が断簡となる前に写された模本などを見比べ、絵巻がどのように守り伝えられてきたのかに想いを馳せていただければと思います。この期間の本館3室では、鳥獣人物戯画、佐竹本三十六歌仙絵など、絵巻断簡の優品も展示します。あわせてご覧ください。(土屋貴裕)



源氏物語絵巻断簡

平安時代・12世紀

室町時代の源氏絵と考えられてきたこの断簡。実は徳川・五島本源氏物語絵巻(国宝)ととも一つ



男衾三郎絵巻断簡

鎌倉時代・13世紀

長らく「千代能姫之画」として伝来。約40年ぶりに絵巻と断簡が同時公開。男衾三郎絵巻のどの場面にあたるのか。その謎解きは会場

本館 3室 宮廷の美術

誰もが知っている
あの有名絵巻の断簡

鳥獣人物戯画断簡

6月25日(火)～8月4日(日)



鳥獣人物戯画断簡 平安時代・12世紀

カエルやキツネ、サルが二足歩行で行進中。
「サラサラ」という筆遣いの音まで聞こえてきそうな軽妙な線も、この作品の大きな魅力

この絵、どこかで見たことがありませんか？

数ある日本の絵巻の中でおそらく最も有名な絵巻、国宝・鳥獣人物戯画(高山寺蔵)ともとは一つだった作品です。平安時代に描かれた鳥獣人物戯画のうち、伝世の過程で分かれてしまい、「断簡」となっているような掛幅装となりました。

仏事や祭礼など、人間の営みを動物たちが演じるという趣向の絶妙さ。墨一色のモノクロームで動物たちの様々な動きを活写する軽やかな筆致。その魅力は、今でも私たちの心をグッとつかんで離れません。

(土屋貴裕)

本館 11室 彫刻

大黒天は戦闘神!?
肌の色に注目

重文 大黒天立像

6月11日(火)～9月8日(日)



◎大黒天立像

快兼作 南北朝時代・貞和3年(1347)

奈良・東大寺伝来 文化庁蔵

南都焼き討ち以来、復興が遅れていた東大寺食堂に安置するために造られました

大黒天は七福神の一人で、ふくよかな体型、満面の笑み、大きな袋を持つのがなじみの姿です。しかし、インドでは財福の神のほかに戦闘の神という性格もあり、恐ろしい姿につくられることがむしろ多かったのです。日本でも平安時代にはよろいを着けた憤怒の顔の像があります。鎌倉時代以降は武装する像はあまり見られなくなり、やがて財福神に一本化されていきます。この像は福耳ですが、笑顔ではなく顔の色はわずかな痕跡から青黒かったことがわかります。青黒い肌は戦闘神の名残。財福神へ性格が変わって行く過渡期の像なのです。(浅見龍介)

本館 13室 陶磁

細密な地文様が幻想的

色絵三壺文皿

6月11日(火)～9月8日(日)

色絵三壺図皿 鍋島 江戸時代・17世紀 中路三平氏寄贈
まったく塗りむらのない背景の濃み染めにも注目

江戸時代、幕府から各大名には参勤交代とともに国元の産物を献上する例年献上が課せられていました。鍋島氏を藩主とする佐賀藩は、磁器を献上していました。例年献上の磁器には、器形や文様に厳格な規格が定められていました。この皿には仲立ち紙を用いて下図を転写する技法がとられており、壺の輪郭線は五枚の皿でほぼ同じです。壺には細密な地文様が描かれているものの、立体感はまったく感じられず、幻想的な気分が生み出されています。(今井敦)

本館 15室 民俗資料

朱漆に箔絵、首里士族の
艶やかな工芸品

茶庫

6月11日(火)～9月16日(月・祝)



茶庫 沖縄本島 第二尚氏時代・19世紀 展示期間:7月30日(火)～9月16日(月・祝)

機能美も備えた保温容器

茶庫は遊山や祖先供養など屋外へ湯や茶などを持ち運ぶために使われた木製の保温容器で、一般にはタークー(湯庫)と呼ばれています。主に首里の士族が用いました。全体の形は上広がりの八角形で、取り外しができる蓋と提手がつき、中には錫製の湯桶が納められています。本例は指物造りで、内側と底をのぞく外面には朱漆に箔絵技法で人物や山水を描いています。近景の岩や遠景の山々の輪郭部分が盛り上げられたことによって、文様に抑揚がつき奥行きのある表現となっています。(品川欣也)

平安時代から江戸時代までに用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、武士の肖像画や書を展示します。



必見 ◎黒韋包金桐文系巻太刀 室町時代・15世紀
鞘を韋で包み、金無垢の金具をつけた大変豪華な外装です

4

茶の美術

日本の伝統文化である茶の湯のなかで育まれた美術を紹介します。

5/21 火
8/18 日

南京赤絵蓮鴛文手桶形茶器

景德鎮窯 明～清時代・17世紀
鴻池家伝来 広田松繁氏寄贈
五客一組の向付として鴻池家に伝来し、その後茶器に仕立てられました



古染付手桶形水指

景德鎮窯
明時代・17世紀
広田松繁氏寄贈
日本の茶人が中国の景德鎮窯に注文して作らせた



3 - 3

禅と水墨画

禅宗の本格的導入にともない成立した水墨画と墨跡をご覧ください。

6/23 日

◎祖師図 (大満送大智)

伝狩野元信筆
旧大仙院方丈障壁画
室町時代・16世紀
もと大徳寺の塔頭、大仙院の障壁画で、禅宗祖師の物語が描かれています



6/25 火

◎祖師図 (雲雲観桃)

伝狩野元信筆
旧大仙院方丈障壁画
室町時代・16世紀
唐時代の禅僧、雲雲志動が桃の花を見て悟りを開いた場面が描かれています



3 - 2

宮廷の美術

— 平安～室町

宮廷貴族社会を中心に育まれたやまと絵と書、調度品の世界。

6/25 火

8/4 日

特集陳列「断簡一掛軸になった絵巻」(本館特別1室)に関連して動物を描いた絵巻断簡や古筆など、さまざまな断簡作品を中心に展示します。



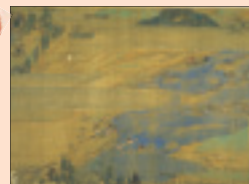
国宝室

絵画・書跡の名品をゆったりした空間で心静かに鑑賞していただくための展示室です。

5/28 火 6/23 日

◎一遍上人伝絵巻 巻第七

法眼円伊筆 鎌倉時代・正安元年(1299)
一遍が歩いた各地の風景や人々の生活の様子が季節感ゆたかに活き活きと描き出されています

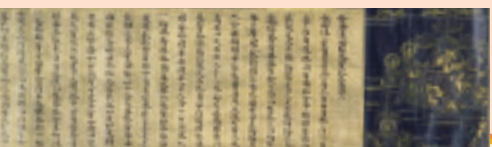


6/25 火

8/4 日

◎法華経一品経(慈光寺経)

鎌倉時代・13世紀 埼玉・慈光寺蔵
鎌倉時代初期の装飾経の優品。金銀砂子・裂箔などを散らした優雅な料紙に注目



鳥獣人物戯画断簡

平安時代・12世紀
京都・高山寺所蔵の国宝絵巻の断簡。生き生きとした動物たちに注目です



石山切(伊勢集)

「かりにくと」
伝藤原公任筆
平安時代・12世紀
個人蔵
きらびやかな装飾料紙の石山切と尾形切をまとめてご覧ください

3 - 1

仏教の美術

— 平安～室町

絵画、彫刻、書跡など、日本仏教美術の多様で多彩な世界をご覧ください。

6/25 火 8/4 日

特集陳列「断簡一掛軸になった絵巻」に関連した絵画などを展示します。

◎華嚴五十五所経巻断簡 (普賢菩薩)

鎌倉時代・13世紀
暢達した描線と透明感ある彩色による清澄な面趣が見どころです



1 - 1

日本美術のあけぼの

— 縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から古墳時代の代表作品を紹介します。

12/8 日 縄文土器や土偶、銅鐸や埴輪などから各時代の造形美の変遷を追います。

必見

銅鐸

弥生時代(後期)・1～3世紀 静岡県浜松市北区三ヶ日町釣(荒神山)出土 水野忠弘氏寄贈
東海地方で発達した優美な銅鐸。弥生の幾何学美が凝縮される



深鉢形土器

縄文時代(中期)・前3000～前2000年 東京都あきる野市牛沼出土 後藤守一氏寄贈
力強い大形土器の器面全体を縄文特有の立文様が覆う

必見

1 - 2

仏教の興隆

— 飛鳥・奈良

飛鳥時代から奈良時代にかけての仏像や経典など、古代の仏教美術を紹介します。

6/25 火

8/4 日

菩薩立像

飛鳥時代・7世紀
日本の仏像彫刻黎明期の様相を想像させる飛鳥時代の希少な菩薩立像です



ぶつせつほう 天平十二年五月一日

光明皇后願経

奈良時代・天平12年(740)

光明皇后の発願した「五月一日経」の一つで、人々を幸福にする内容の経典です



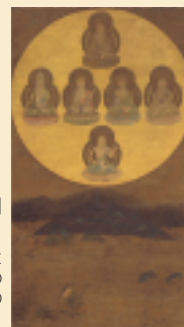
6/23 日

「国宝 大神社展」に合わせた関連作品を展示します。

必見

春日本地仏曼茶羅図

鎌倉時代・13世紀
春日の神の本地仏と神鹿が遊ぶ春日野の神域を上品な色調の中に描いています



7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

7/9 火 — 8/18 日

寄せ合い書きの色紙が貼り込まれた土佐派の歌仙絵、源氏絵をご覧ください。

げんじものたりずひょうぶ
源氏物語図屏風

土佐一得筆
安土桃山時代・16世紀
書とミニアチュールの共演

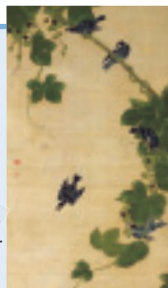


— 7/7 日

17世紀から19世紀にかけて描かれた各派の花鳥図にみられるさまざまな表現をご覧ください。

かちょうずひょうぶ
花鳥図屏風

俵山黙隠筆 江戸時代・宝暦14年(1764)
写実的で幻想的



5

6

武士の装い — 平安～江戸

7/9 火

9/29 日

くろいとせむしにまいどうくそく
◎黒糸威二枚胴具足

江戸時代・17世紀
黒を基調にした具足で、金銀であらわされた文様が映えています



8 - 1

暮らしの調度 — 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

— 6/23 日

季節に合わせ、春から初夏の文様の作品をご覧ください。

ふじだなまき えしよけんがい
藤棚時絵書見台

江戸～明治時代・19世紀 矢野鶴子氏寄贈

藤棚の図柄に合わせて板の一部を透かし、支柱は竹を象るなど、斬新なデザイン



6/25 火 — 9/16 月・祝

暑い季節、涼風を思い起こさせる水辺の意匠の品々を中心にご覧ください。

りゅうじゅさぎ えがかり
柳樹鷺柄鏡

江戸時代・18世紀
徳川頼貞氏寄贈
若葉が風にそよぐ柳の下、水辺に憩う鷺は涼しげです



8 - 2

書画の展開 — 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。

— 7/7 日 雨の情景を描いた絵画。



あまやど ずひょうぶ
雨宿り図屏風

英一蝶筆 江戸時代・18世紀
突然の雨にわかれ、一つ屋根の下に肩を寄せあう人々



書状

狩野探幽筆 江戸時代・17世紀
江戸前期を代表する画家の意外に洒落な筆跡

7/9 火 — 8/18 日

和歌が記された絵画とともに和歌の歌意を絵画化した作品など、和歌に関わるやまと絵。

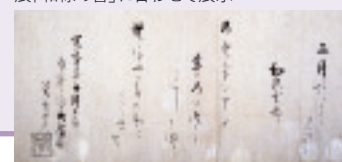


ぼくば ずひょうぶ
牧馬図屏風

松本山雪筆 江戸時代・17世紀
書と優美な細密描写との共演

けししたえ わ かげん
芥子下絵和歌巻

本阿弥光悦筆 江戸時代・寛永10年(1633)
下絵と書が絶妙に調和する光悦の傑作。特別展「和様の書」に合わせて展示



9

能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

— 6/23 日

能「邯鄲」に合わせて、江戸時代の能面・能装束を展示します。



ほつび かんじしゅうこうもようじゆ
法被 金地蜀江模様錦

江戸時代・18世紀
奈良・金春座伝来
気高い精神性を象徴する蜀江模様

6/25 火 — 8/18 日

「貴徳」「陪臚」に使われた江戸時代の舞楽装束を中心に展示します。



ぶかくしゅうぞく
舞楽装束 貴徳 裾襦

江戸時代・19世紀
走舞の一つである「貴徳」。縁に房飾りがついた袖無し貴頭衣が特徴です

【衣装】小袖や髪飾り、印籠や根付など江戸時代のファッションに関する展示です。

— 6/23 日 牡丹・藤・桐など季節にふさわしい花の模様をデザインした小袖を展示します。



こそで しりりんずじ
小袖 白綾子地
流水松藤模様

江戸時代・17～18世紀
松に藤の花房が垂れかかる情景は日本人の心を映します

6/25 火 8/18 日
帷子や単衣といった夏のキモノや涼しげなガラスの簪などを展示します。



かたばら くろべにあさじ せんめん
帷子 黒紅麻地扇面
雪輪手笠秋草模様

江戸時代・17～18世紀
涼しさと呼ぶために雪をデザインした麻の単仕立の帷子

10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】江戸時代の美人や風景を描いた版画の浮世絵を展示します。



5/21 火 — 6/23 日

初夏の風物を盛り込んだ作品を中心に展示します。

見立小野道風

鈴木春信筆
江戸時代・18世紀
花札でも知られる小野道風の図を、初夏の柳の下に立つ女性にやつして描いている

6/25 火

7/21 日

昨年寄贈を受けた「通俗水滸伝豪傑百八人之一個」シリーズから38枚を展示します。

つうぞくすい こんごうげつ
通俗水滸伝豪傑
ひやくはちにんのひとり
百八人之一個・

九紋龍史道、
跳洞虎陳達

歌川国芳筆
江戸時代・19世紀
江森早苗氏寄贈
江戸庶民の人気を集めた歌川国芳の出世作



アジアを
旅する東洋館
3室

西域の美術

シルクロードの石窟壁画が眼前に

衆人奏楽図

6月25日(火)～8月18日(日)



衆人奏楽図

高昌ウイグル期
10～11世紀
中国・ベゼクリク石窟
第33窟
大谷探検隊将来品

しっかりした輪郭線を引き、色は外を濃く、内側を薄くして立体感を出しています

東洋館の第3室、インド・ガンダーラ彫刻の奥「西域の美術」というコーナーでは、現在の中国新疆ウイグル自治区で発掘・収集された作品を展示しています。シルクロードのオアシス都市にかつて栄えた仏教寺院の遺物が中心です。奥の小部屋は石窟の壁画の展示室。キジル石窟、ベゼクリク石窟と敦煌の幡、壁画の模写をまじえて構成します。敦煌、トゥルファン、クチャは遠く、行くのは大変ですが、ここで明るい照明のもと観覧できるのは貴重。特に今回展示する衆人奏楽図は釈迦の涅槃像を安置した部屋の壁を飾ったもので、コレクション中屈指の名画です。

(浅見龍介)

東洋館
4室

中国文明のはじまり

始皇帝のハンコの痕か!?

「皇帝信璽」封泥

5月8日(水)～2014年1月13日(月・祝)

東洋館の三階から上階は、しばらく中国の美術や考古の展示がつづきます。その冒頭を飾るのが「中国文明のはじまり」です。このコーナーでは中国の古代文明を特色づける土器・玉器古文書を紹介しています。古文書といえは、最古の漢字・甲骨だけでなく、同じケース内の封泥もぜひご覧ください。

封泥とは、大事な物を縛った紐に粘土を貼りつけ、その上に印をおして封印にしたもの。こと。いまから二千年余り前の秦漢時代に流行しました。封泥の印文は個人名のもの以外に、官印をおしたものが一般的で、そこからさまざまな官職を読み取ることができます。なかでも、ご注目いただきたいのが「皇帝信璽」の封泥です。皇帝の玉璽がおされたもので、秦時代にさかのぼるとも考えられます。印の持ち主は、もしかするとあの始皇帝だったのかも知れません。

(川村佳男)



「皇帝信璽」封泥(表・裏)

秦～前漢時代・前3～前2世紀 中国

阿部房次郎氏寄贈

篆書を鑑賞・研究するうえでも、封泥は貴重な資料です。

東洋館
5室

中国の陶磁

偉大な蒐集家たちの情熱を感じて

横河コレクションと
広田コレクション

5月8日(水)～9月1日(日)



◎三彩貼花龍耳瓶

唐時代・8世紀 中国
横河民輔氏寄贈
異国情緒あふれる姿が
魅力的な唐三彩の代表的な作品です



五彩金襴手花井文水丞

景德鎮窯 明時代・16世紀 中国 広田松繁氏寄贈

水丞とは硯に注ぐための水を入れておく文房具の一種です

東洋館5室「中国の陶磁」のコーナーでは、横河民輔(二八六四～一九四五)と広田松繁(二八九七～一九七三)、二人の偉大な蒐集家によるコレクションのなかから、名品を選び出すべく展示しています。壁沿いのケースでは、唐時代から清時代に至る千年の時間の流れを、三彩貼花龍耳瓶など重要文化財四点を含むおよそ三十点の横河蒐集の名品によって、体系的にご覧いただくことができます。また、リニューアルで新たに設けた背の低いケースでは、文房具や茶道具など広田松繁の愛蔵品を手にとるようにじっくり味わっていただけるでしょう。どうぞお楽しみに。

(三笠景子)

東洋館
10室

朝鮮の考古と美術

展示室のデザインにもご注目

四神が刻まれた
石棺と墓誌

通年展示

東洋館リニューアルに伴い、すべて朝鮮の展示となった10室。朝鮮時代の支配階級両班の居室をイメージして展示ケースの内装も白くし、統一された雰囲気の一部屋となりました。展示ケースの高さや配置も工夫して、一カ所からより多くの作品を見渡せるようにしています。

この展示室の中央に、張忠義(一一〇九～一一八〇)の石棺と墓誌を展示しています。以前は展示の機会が少なく、展示しても一方の側面しかご覧いただけなかったのですが、現在は四方からご覧いただけるようになりました。石を組み立てた石棺は、方位に合わせて四方に四神(玄武・青龍・朱雀・白虎)が刻まれています。高麗時代は仏教が栄えていたため、骨壺などを納めました。墓誌によると、張忠義は高麗中期の文臣で、弁舌が巧みであったため、中国の金王朝に使者として派遣されたり、外国からの使者を接待しました。また、地方官吏の不正をたどしました。

(白井克也)



東洋館10室の展示風景

石棺に描かれた四神は必見。ぜひ四方からご覧ください

*列品解説7月9日(火)、12ページ参照



通年展示

国宝
鵲尾形柄香炉

飛鳥の美意識を今に伝える

●法隆寺宝物館 第5室

●鵲尾形柄香炉

飛鳥時代 7世紀

大ぶりの半球状の飾り、縦長く、口に向かって朝顔形に強く反る炉など、古様で優美な姿をみせる柄香炉の代表作です

柄香炉は取っ手のついた香炉。袈裟や水瓶など、古来僧侶が備えておくべき道具が定められています。柄香炉もその一つに挙げられます。この柄香炉は、柄の末端が三山状に分かれ、それが鳥の鵲の尾に似ることから、この名があります。法隆寺の建物や宝物について記した『法隆寺伽藍縁起并資財帳』にある「鍬石（真鍮）製の香炉」にあたると思われる。二つの半球状の飾りが大きく、炉は縦長く、口に向かって朝顔形に強く反るなど、随所に古い様式を示しています。

（伊藤信二）



7月9日（火）～12月15日（日）

鎮壇具

江戸城本丸を護る鎮壇具

●平成館 考古展示室

鎮壇具

江戸時代・17世紀 東京都千代田区 江戸城本丸跡出土

繊細な彫刻が施された重厚感ある輪宝です

鎮壇具は地鎮の際に地中に埋納する品物です。時代にもよりますが、鎮壇具には金属や貴石類、器物や武器などさまざまな種類があります。特に平安時代以降、輪宝（写真左）や槨（写真右）をはじめとする密教法具が鎮壇具に取り入れられるようになります。今、ご紹介するのは、江戸城本丸跡出土の鎮壇具です。薄く箔状に延ばした金や銀、輪宝に加え、徳川家の家紋である葵形をあしらった葵形金製品が特徴的です。江戸城本丸の築成に関わる埋納と考えられます。

（井出浩正）

1000年後の未来に バトンタッチ！

保存と修理情報

17

文化遺産を脅かす危機について考える
（その3）

—低炭素社会と共存する博物館の在り方—



調湿剤を使った湿度管理



木製の保管棚による湿度管理

地球温暖化防止対策の一つとして、二酸化炭素の排出量を抑制する必要性から、博物館施設における温湿度の変動幅を従来と比較して大きな値まで許容しようとする検討が世界的に始まっています。従来、文化遺産の保存公開のために設定された温湿度環境の指針は、一定値を目標とする考え方が支配的であり、その傾向は特に日本で著しいものでした。年間を通して一定の値を維持するために莫大なエネルギーを必要とすることから、現代では経済的な意味においても、社会情勢から受入れが困難な目標となりつつあります。二酸化炭素放出の抑制には、節電、エネルギー変換効率が高い設備の導入、代替エネルギーの利用などがありますが、博物館施設では展示室や収蔵庫における空調運転時間の短縮による節電が手取り早い解決策となりやすい対象です。しかしながら、文化遺産を持続可能な環境で安定的に保全するためには、しっかりとしたあらたな環境指針を用意し、流動的な社会環境に対応する必要があると。

（神庭信幸）

PART 1

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・解説

講演会

月例講演会「和鏡を楽しむ」

日本では古くから江戸時代まで、銅製の鏡が用いられ、背面には文様が表されました。平安時代以降、日本で製作された和鏡について、その形式や文様の主題・構成の変遷をたどります。

日時：6月8日(土) 13:30～15:00 講師：伊藤信二(教育普及室長)

月例講演会「東京国立博物館所蔵の西洋画コレクション」

博物館草創期の収集品の一つとして位置付けられる高橋由一の油絵から、昭和の「国枝コレクション」まで、当館所蔵の西洋画について修理担当者の視点を交えてお話しします。

日時：7月27日(土) 13:30～15:00 講師：土屋裕子(保存修復室主任研究員)

*開場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)

列品解説

猿の美術入門

日時：6月4日(火) 14:00～14:30 平成館企画展示室

講師：小島有紀子(教育講座室任期付研究員)

多岐にわたる猿の美術の造形と、人間との関わりから生まれたイメージについてお話しします。

中国絵画？ 日本絵画？ 一馬遠「寒江独釣図」と日本一

日時：6月11日(火) 14:00～14:30 東洋館シアター

講師：塚本鷹充(東洋室研究員)

修復の終わった「寒江独釣図」。中国と日本の文化史からその意味を考えます。

マテリアルからみる展示デザイン

日時：7月2日(火) 14:00～14:30 東洋館シアター

講師：矢野賀一(デザイン室主任研究員)

東洋館の展示デザインを、マテリアルを中心に解説します。

高麗の石棺

日時：7月9日(火) 14:00～14:30 東洋館10室

講師：白井克也(平常展調整室長)

高麗の石棺の見方と、そこに葬られた張忠義の人間像に迫ります。

*本誌10ページ参照

本願寺本三十六人家集と石山切

日時：7月23日(火) 14:00～14:30 本館3室

講師：島谷弘幸(副館長)

茶席や古筆愛好家から高い評価を受ける石山切の魅力を解説します。

*本誌8ページ参照

縄文土器に飾られた人物と動物

日時：7月30日(火) 14:00～14:30 平成館考古展示室

講師：井出浩正(考古室研究員)

縄文土器に付けられた人や動物などの装飾に注目し、人と動物の関わりについてご紹介します。 *本誌6ページ参照



◎埴輪 猿

古墳時代・6世紀

伝茨城県行方市沖洲

大日塚古墳出土

連続講座「和様の書」

特別展「和様の書」(本誌4ページ参照)に関連した講座で、3日間連続で受講していただきます。

◆8月2日(金)

「世尊寺流の書」 13:00～14:30

島谷弘幸(副館長)

「これからの『和様の書』」 14:45～16:15

土橋靖子(読売書法会常任理事、日展会員、水穂会副会長)

◆8月3日(土)

「和様の書と料紙について」 13:00～14:30

高橋裕次(博物館情報課長)

「装丁と修理」 14:45～16:15

岡泰史(株式会社岡墨光堂代表取締役)

◆8月4日(日)

「『和様の書』鑑賞の歴史」 13:00～14:30

恵美千鶴子(書跡・歴史室アソシエイトフェロー)

「信仰と書」 14:45～16:15

田良島哲(調査研究課長、書跡・歴史室長)

会場：平成館大講堂

定員：380名(事前申込制、応募多数の場合抽選)

聴講料：無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途入館料が必要。会場受付時に連続講座期間中、無料で入館できる受講券をお渡しします。翌日以降は受講券で入館いただけます。なお、受講券で特別展は入場できません)

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお送りください。

*1枚の往復はがきで2名の申込可。2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 教育講座室「連続講座」係

申込締切：7月1日(月)必着

PART 2

大人も子どもも楽しめる

夏休みファミリー向け展示

親と子のギャラリー

「日本美術のつくり方Ⅳ」

日時：7月17日(水)～8月25日(日)

会場：本館特別2室

夏休み恒例の親と子のギャラリー。今年も作品の「つくり方」に注目します。博物館にはたくさんの作品が展示されています。これらはどれも誰かがつくったもの。では、何を使って、どうやってつくったのでしょうか？今年は鏡・七宝・人形・料紙装飾の4つを作るために使われた技や道具についてわかりやすくお伝えし、日本美術のつくり方というヒミツに迫ります。

あまり知られていない日本美術のつくり方を勉強し、作品の写真と一緒にまとめれば夏休みの自由研究にもなります。

みんなに教えてあげてください、日本美術のつくり方。

◆型がヒミツ 鏡

むかし使われていた鏡は金属でできていて、裏にはいろいろななまようが表されています。溶かした金属でかたちをつくる方法は、他の作品にも使われています。

◆色とりどりのもようのヒミツ 七宝

七つの宝という名のとおり、とても美しい七宝。もちろんその美しさは手間ひまかけて作られた結果。どんなヒミツがあるのかのぞいてみましょう。

◆美肌のヒミツは胡粉 人形

お雛様や五月人形でもおなじみの人形。でも、材料、道具、手順についてはあまり知られていません。少しずつ完成に近づく模型で人形のつくり方を学びます。

◆書を楽しむヒミツ 料紙装飾

むかしの天皇や貴族などが使った、とてもきれいな紙は、当時も貴重品でした。紙を飾るいろいろな方法を知れば、文字が読めなくても書を楽しめるはず。

模本 三十六人家集 能宣集

田中親美模 明治40年(1907)

一体どうしたらこんなにきれいな紙ができるのでしょうか



七宝水仙釘隠

江戸時代・17～18世紀

ステンドグラス?

いいえこれが七宝の美しさ!



五感を使った美術体験 ワークショップ

事前申込制 [ウェブサイトフォーム]

ファミリーワークショップ

「きらきら光る唐紙を摺ろう」

むかしの貴族が和歌などを書いた紙はとってもきれいだ。今回はもようがきらきら光る唐紙、きれいな紙作りに挑戦です！親子のギャラリー「日本美術のつくり方」でも注目している紙を飾る技、夏休みの自由研究にもどうぞ。

日時：①8月11日(日) 14:30～17:00、②8月24日(土) 10:00～12:30

会場：平成館小講堂

対象：小学生を含むご家族

定員：10組(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、保護者の方の当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームでお申し込みいただけます。

申込締切：7月22日(月) 必着

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

ワークショップ

「学芸員に挑戦！」

「作品をどうやって扱うんですか？」これは多く寄せられる質問です。作品の扱い方を知れば、展示も少し違う視点で見られるかもしれません。今回は絵巻などのレプリカを用い、作品の扱い方を体験していただきます。

日時：①7月28日(日) 10:00～12:00、②7月28日(日) 14:00～16:00

会場：平成館小講堂

対象：回によって対象が異なりますのでご注意ください。

①中学生・高校生、②一般

定員：10名(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、一般の方は当日の入館料が必要)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォーム、往復はがきでお申し込みいただけます。

(1) 参加希望の回、(2) 参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・年齢、(3) 代表者の郵便番号、ご住所、(4) 代表者の電話番号を明記の上、下記申込先までお送りください。往復はがきの場合、「返信用表面」に代表者の郵便番号、住所、氏名をご記入ください。

申込先：〒110-8712

東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館教育普及室

「学芸員に挑戦！」係

申込締切：6月24日(月) 必着



一度手に持ってみると今までとは違う感覚で鑑賞できるはず

おとなのためのワークショップ

「唐紙の魅力、料紙の魅力」

特別展「和様の書」や本館で書跡を味わうときの大きなポイントの一つが料紙。料紙を飾るいろいろな技法の魅力に触れ、唐紙にも見られるもようを摺ってみましょう。

日時：①8月11日(日) 10:00～12:30、②8月24日(土) 14:30～17:00

会場：平成館小講堂

対象：一般(高校生以上)

定員：①②ともに20名(応募者多数の場合には抽選。一度の申込で2名までお申し込みいただけます)

参加費：無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は当日の入館料が必要です)

申込方法：当館ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申し込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1) 参加希望の回、(2) 参加者全員(2名まで)の氏名・ふりがな・年齢、(3) 代表者の郵便番号・住所、(4) 代表者の電話番号を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館教育普及室「おとな唐紙」係

申込締切：①②ともに7月17日(水) 必着

あなたの鑑賞をサポート

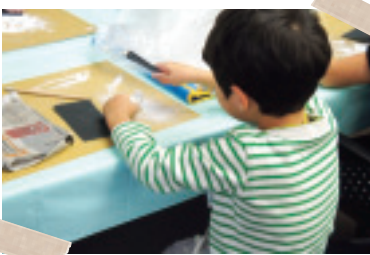
ボランティアによる事業

事前申込制 [往復はがき、ウェブサイトフォーム]

こどもたちのアートスタジオ

①「勾玉作り」

平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後、滑石を削って実際に勾玉を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。



みんな一生懸命
やっているほー



勾玉は紙やすりで石をけずって
作ります。

②「根付作り」

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後に、焼くとかたまる樹脂でできた粘土で根付を制作します。完成品はお持ち帰りいただけます。

日時：①勾玉作り7月14日(日)

②根付作り8月4日(日)

13:30～15:30

会場：本館地下1階
教育普及スペースみどりのライオン



根付は樹脂でできた粘土で作ります。

対象：小学校3年生から高校生(保護者の方の見学も可能です)

定員：10名程度(応募者多数の場合には抽選)

参加費：無料(ただし、保護者の方の当日の入館料が必要)

アートスタジオ

③大人の根付作り

本館10室と高円宮コレクションの根付を見学した後に、焼くとかたまる樹脂でできた粘土で根付を制作します。完成作品はお持ち帰りいただけます。

日時：9月8日(日) 13:30～15:30

会場：本館地下1階 教育普及スペースみどりのライオン

対象：一般(高校生以上)

定員：15名程度(応募者多数の場合には抽選。一度の申込で2名までお申し込みいただけます)

参加費：無料(ただし、当日の入館料が必要です。高校生と満18歳未満および満70歳以上の方は入館無料)

申込方法：当ウェブサイトの申込フォームか往復はがきでお申し込みください。往復はがきの場合には、「往信用裏面」に(1) 参加者全員の氏名(ふりがな)、こども向けは学年、一般向けは性別・年齢、(2) 参加者全員(2名まで)の郵便番号・住所、(3) 代表者の電話番号、(4) こども向けに保護者が一緒の場合はその人数を、「返信用表面」に代表者の郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記申込先にお送りください。

*2名の場合は、それぞれの住所を必ず明記してください。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館ボランティア室 ①は「7月14日勾玉作り」係、②は「8月4日根付作り」係、③「9月8日大人の根付作り」係

申込締切：①6月21日(金)、②7月8日(月)、③8月12日(月) 必着

トーハクくんの
根付、作りたいわ



*「東洋館シアター」とは、東洋館TNM&TOPPANミュージアムシアターのことで。

*事前申込制のプログラムにお申込みいただいた方へは、当落に関わらずご連絡いたします。実施日の3日前までに、受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので各申込先にお電話でお問合せください。電話03-3822-1111(代表)

*各種催し物のご応募の際ご提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。



イベント開催のお知らせ

東京国立博物館 ファミリーコンサート ～クラリネットの響きが彩る午後のひと時～

東京クラリネット・クワイアーが、クラリネットだけの珍しい編成でお届けする名曲の数々

日時:7月7日(日) ①13:00 ②15:00 会場:平成館ラウンジ

出演:演奏 東京クラリネット・クワイアー 指揮 稲垣征夫

曲目:ハンガリー行進曲 H.ベルリオーズ作曲 磯崎敦博編曲

魔弾のポルカ「百発百中」op.326 J.シュトラウスⅡ作曲 稲垣征夫編曲

ワルツ「もろびと手を取り」op.443 J.シュトラウスⅡ作曲 稲垣征夫編曲 ほか

料金:無料(ただし当日の入館料は必要)

*事前予約不要 先着250名

主催:東京国立博物館 東京クラリネット・クワイアー

協賛:上野のれん会

初秋東博寄席2013

日時:9月22日(日) 開場13:00 開演13:30

会場:平成館大講堂

出演:金原亭馬生、金原亭馬治、金原亭馬吉、

浅茅与志江、太田その、金原亭駒松

料金:2,000円 全席自由

*当日は、公演のチケットで、総合文化展をご観覧いただけます。

主催:東京国立博物館

〈チケットのお求め方法〉

○当館正門チケット売場でのチケット販売

受付時間:開館日の9:30～閉館の30分前まで

月曜休館(ただし、7月15日〈月・祝〉、8月12日〈月〉、9月16日〈月・祝〉は開館、7月16日〈火〉、9月17日〈火〉は休館、6月18日〈火〉は臨時休館)

○電話予約販売

申込先:東京国立博物館 総務課イベント担当 TEL:03-3821-9270

受付時間:月曜日～金曜日 9:30～17:00(土日・祝休日と6月17日〈月〉、18日〈火〉は除く)

引換方法:公演当日、9:30～当館正門チケット売場にて現金引換えにてお渡しします。

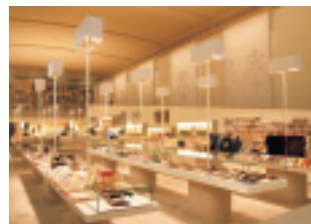
*各イベントの詳細は、当館ウェブサイトでご確認ください。

*お車でのご来館はご遠慮ください。



ミュージアムショップリニューアル

今春、本館ミュージアムショップが地下から1階20室に移転し、リニューアルオープンしました。天井高を活かした明るく開放的な空間に生まれ変わりました。中央にはフラットな展示台を配し、当館所蔵の名品の複製や伝統工芸品、おしゃれな文具、お菓子など、たいへん見やすく並べられています。さらに壁面に沿って緩やかなスロープ「本の道」を設けました。上部に張り出した「本のテラス」まで続く書棚には、美術書や展覧会カタログがずらり。より便利に、より刺激的になったミュージアムショップ、「最後に訪れる展示室」をお楽しみください。



閉室情報

6月3日(月)～7月8日(月)は、展示替えのため、平成館考古展示室を閉室します。

臨時休館

6月18日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館いたします。

電気点検って
なんだほ？



毎年やっているじゃない！
年に1回、160人以上の
スタッフが館内設備を
しっかり点検してくれるのよ。



京都展チケットプレゼント

本誌ページでご紹介した特別展「京都一洛中洛外図と障壁画の美」(10月8日〈火〉～12月1日〈日〉)のご招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は7月26日(金)必着。

◎プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。
〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室「ニュース6・7月号」プレゼント係



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてられます。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。
賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。
*賛助会員のお申込は随時受け付けております。

◎年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円 / 個人 5万円

◎主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2013年4月17日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社 コア 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様
読売新聞社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 精養軒 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
日本通運株式会社 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設株式会社 様
株式会社 古美術本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本書道研究社 様
日本書道興業株式会社 様
株式会社 東京書芸館 様
インフォコム株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 インターネットイニシアティブ 様
株式会社 小西美術工芸社 様

ブルガリ ジャパン株式会社 様
財団法人 東京国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様
日本ロレックス株式会社 様
サロン・ド・ネット 様
シティバンク銀行株式会社 様
株式会社 ミュージアムスタイルカフェ 様
株式会社 東芝 様
株式会社 みずほ銀行 様
一般財団法人 東京国立博物館協力会 様

公和図書株式会社 様
有限会社 ギャラリー・竹柳堂 様
株式会社 育伸社 様
株式会社 モリサワ 様
アミ開発有限会社 様
光村図書出版株式会社 様
株式会社 アク・ヒューマンリンド 様
キョーリン製菓ホールディングス株式会社 様
株式会社 資生堂 様
株式会社 グラスバウ・ジャパン 様
株式会社 デュナミス 様
キッコーマン株式会社 様
公益社団法人 創玄書道会 様
株式会社 アルカ 様
朝陽書道会 様
一般社団法人 書芸文化院 様
株式会社 都市環境企画 様
全日本空輸株式会社 様
楽天銀行株式会社 様

維持会員個人

木村 則子 様
高木 聖鶴 様
早乙女 節子 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
数内 匠人 様
服部 悦子 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 裕子 様
齋藤 邦裕 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様
藤原 紀男 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
榎田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星 楚由 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
福田 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧 美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
山田 泰子 様
栄田 陸子 様
網村 安代 様
岡田 博子 様
日井 生三 様
津久井 秀郎 様
川渕 祐勝 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 真 様
青山 千代 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様

東野 治之 様
辻 泰二 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
脇 素一郎 様
木谷 順一郎 様
高梨 兵左衛門 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千恵子 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
高橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 晴也 様
渡邊 雪絵 様
佐藤 禎一 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
木村 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
酒井 弘文 様

伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
大森 雅子 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
秋元 文子 様
土師 昭三 様
土塚 建次 様
鏡 賢志 様
山田 輝明 様
波邊 雪絵 様
佐藤 禎一 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
木村 徹 様
今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
酒井 弘文 様

木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様
岡 靖子 様
吉川 晴紀 様
菊地 昌之 様
岩本 光雄 様
山本 隆幸 様
鈴木 春朝 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
増沢 信義 様
栗本 英信 様
本條 陽子 様
西原 一 様
加藤 康幸 様
安田 格 様
原田 清朗 様
筑紫 みづえ 様
山崎 玲 様
山形 哲也 様
山本 雅司 様
倉片 康雄 様
栗山 哲夫 様
山根 聖芳 様
梅本 聖 様
梅本 亨世 様

田頭 一舟 様
岡田 良雄 様
阿部 和加子 様
井茂 圭洞 様
高味 良信 様
廣田 穠 様
杉山 泰規 様
山田 浩一 様
笹森 美子 様
高橋 明子 様
村井 明美 様
久保田 哲晩 様
小塚 泰博 様
星 八郎 様
星 弘道 様
熊谷 潤子 様
西久 義久 様
佐野 豊進 様
田中 節山 様
高木 聖雨 様
久保 和樹 様
田浦 宏己 様
谷内 英一 様
荒木 章 様
福岡 珍 様
関口 大志 様
中山 文子 様
山口 登樹 様
柳村 衛 様

樺澤 剛志 様
小日向 志乃 様
佐藤 貴士 様
横田 隆義 様
新保 幸男 様
山田 伊知郎 様
田中 章 様
藤巻 綾子 様
中野 俊介 様
手塚 真由美 様
井出 宗則 様
土屋 和彦 様
碓田 榮一 様
加納 隼人 様
林 和人 様
清水 透石 様
渋谷 誠 様
持田 卓人 様
野田 陽代 様
福田 倫子 様
佐藤 美香 様
青山 慶子 様
谷内 英一 様
杭迫 柏樹 様
福川 コウ 様
樋口 順一 様
吉永 喜代子 様
長崎 益子 様
富山 仁美 様

ほか68名3社、順不同

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

4月6日(土)～
6月30日(日)

◎VR作品

『三蔵法師の十一面観音』

三蔵法師がインドからもたらした経典や仏像に基づいて造られた十一面観音菩薩立像。大スクリーンによって細部まで鑑賞できます。



監修:東京国立博物館 制作:凸版印刷株式会社 協力:法隆寺、興福寺、薬師寺、藤田美術館

●上演時間:

水・木・金曜 12:00、13:00、14:00、15:00、16:00

土・日曜、祝・休日 11:00、12:00、13:00、14:00、15:00、16:00

*約30分(当日予約制)

料金:一般・大学生・高校生:500円、小学生・中学生:300円、未就学児、障がい者及び同伴者1名:無料

*大学生以上は総合文化展当日券(一般600円、大学生400円)とのセット購入で100円割引

*詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

*7月以降の上演作品は未定です。当館ウェブサイトなどでご確認ください。

資料館より参考図書コーナーの配置換え

前回に引き続き、閲覧室の変更についてご案内します。3月末に、参考図書コーナーの書架の増設と配置換えを行いました。参考図書の入替え・追加を行うとともに、コーナーの中央に大きな閲覧机を配置して、その周りを書架で囲み、調べ物にも便利な空間を作りました。それに付随して中国・韓国語の図書・図録やほかの図書も場所を移動しています。昨年度新たに閲覧室に配架した図書は約3,800冊にのびります。今後も引き続き開架スペースの充実を図っていきます。(住広昭子)



博物館に初もうで・東洋館リニューアルオープン 広告ビジュアルが毎日広告デザイン賞 準部門賞を受賞

2013年1月の博物館に初もうでと東洋館リニューアルオープンのキャンペーン広告「トーハクと過ごすお正月」。「感動も、一新する」の新聞広告が、毎日広告デザイン賞の第3部広告主参加作品の部、流通・サービス部門で準部門賞を受賞しました。昨年の「まだ、たった140年」の部門賞に続く2年連続の受賞となりました。ご出演いただいたのは、美術に造詣が深く、トーハクの大ファンとおっしゃる俳優の井浦新さん。4月からはNHKの日曜美術館の司会も勤めておられます。井浦さんをはじめ、ビジュアル制作に携わっていただいた多くの皆様に改めて感謝を申し上げます。



毎日広告デザイン賞準部門賞 受賞作品(新聞広告)
クリエイティブディレクター:岡田園孝、アートディレクター:コビーライター:北川潤一、写真:グレート・ザ・歌舞伎町、ヘアメイク:横山敦(Barber410)、スタイリスト:上野健太郎、和装着付:笹島寿美

『MUSEUM』643号 (2013年4月15日発行)の掲載論文

- ①「名物(岡山藤四郎)について」酒井元樹(当館保存修復室)
 - ②「『資料紹介』東京国立博物館蔵(源氏物語冊子表紙絵模本)について」龍澤彩(金城学院大学准教授)
- 定価:1,500円
お問合せ:当館ミュージアムショップまたは中央公論事業出版(電話 03-3535-1321)



国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展「遊び」 7月13日(土)～8月25日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別展「みほとけのかたち—仏像に会う—」
7月20日(土)～9月16日(月・祝)

〈九州国立博物館〉

特別展「中国 王朝の至宝」 7月9日(火)～9月16日(月・祝)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会

年会費 1万円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート

一般4,000円 学生2,500円

発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館の平常展示館、東京国立博物館の表慶館・黒田記念館など一部展示館を閉館しています。

◎お申込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申込】

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください

●振替手数料はお客様の負担となります

●ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号 00140-1-668060

●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

電話 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◎お申込は郵便振替で

加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース

口座番号 00100-2-388101

●振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください

●振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください

●振替手数料はお客様のご負担となります

●次号より送付ご希望の場合、締切は2013年7月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2013年3月～12月の特別展開催期間中の毎週金曜日は20:00まで開館

2013年4～9月の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日

原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始(2013年12月24日～2014年1月1日)。2013年6月18日(火)は臨時休館。

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

●()内は20名以上の団体料金

●障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください

●満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*各種イベント等のお申込みに際してご提供いただいた個人情報、は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

1 土	時間延長(18:00まで) 本 14:00
2 日	時間延長(18:00まで) 作 13:30 浮 14:00 国宝 大神社展
3 月	休館日
4 火	列品解説「猿の美術入門」14:00 平成館企画展示室*1 建 13:00
5 水	浮 14:00
6 木	
7 金	法 15:00
8 土	時間延長(18:00まで) 月 「和鏡を楽しむ」13:30 平成館大講堂 陶 14:30
9 日	時間延長(18:00まで) 初夏のコンサート 14:30 平成館ラウンジ*2 浮 14:00
10 月	休館日
11 火	列品解説「中国絵画?日本絵画?—馬遠「寒江独釣図」と日本—」14:00 東洋館シアター*1 建 13:00
12 水	樹 13:30
13 木	庭 14:00 本 14:00
14 金	英 14:00
15 土	時間延長(18:00まで) 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
16 日	時間延長(18:00まで) 英 12:00 茶 13:00
17 月	休館日
18 火	臨時休館日
19 水	
20 木	彫 15:00
21 金	法 15:00
22 土	時間延長(18:00まで) 陶 14:30
23 日	時間延長(18:00まで) 彫 11:00 庭 14:00
24 月	休館日
25 火	
26 水	樹 13:30
27 木	本 14:00
28 金	
29 土	時間延長(18:00まで)
30 日	時間延長(18:00まで)

*1 詳細は本誌12ページ *2 詳細は前号14ページ。有料 *3 詳細は本誌14ページ
 *4 詳細は本誌4ページ。事前申込制 *5 詳細は本誌13ページ。事前申込制

1 月	休館日
2 火	列品解説「マテリアルからみる展示デザイン」14:00 東洋館シアター*1 建 13:00
3 水	浮 14:00
4 木	
5 金	法 15:00
6 土	時間延長(18:00まで) 本 14:00
7 日	時間延長(18:00まで) ファミリーコンサート 13:00、15:00 平成館ラウンジ*3 浮 14:00
8 月	休館日
9 火	列品解説「高麗の石棺」14:00 東洋館10室*1
10 水	樹 13:30
11 木	庭 14:00 本 14:00
12 金	英 14:00
13 土	時間延長(18:00まで) 陶 14:30 特別展「和様の書」
14 日	時間延長(18:00まで) 作 13:30 浮 14:00
15 月・祝	時間延長(18:00まで)
16 火	休館日
17 水	親と子のギャラリー
18 木	彫 15:00
19 金	夜間開館(20:00まで) 法 15:00
20 土	時間延長(18:00まで) 記念講演会「和様の書」13:30 平成館大講堂*4 建(手話通訳付)11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
21 日	時間延長(18:00まで) 英 12:00 茶 13:00 考 14:30
22 月	休館日
23 火	列品解説「本願寺本三十六人家集と石山切」14:00 本館3室*1 建 13:00
24 水	樹 13:30
25 木	本 14:00
26 金	夜間開館(20:00まで)
27 土	時間延長(18:00まで) 月 「東京国立博物館所蔵の西洋画コレクション」13:30 平成館大講堂 陶 14:30
28 日	時間延長(18:00まで) ワークショップ「学芸員に挑戦!」10:00、14:00 平成館小講堂*5 彫 11:00 庭 14:00
29 月	休館日
30 火	列品解説「縄文土器に飾られた人物と動物」14:00 平成館考古展示室*1
31 水	(8/25まで) (9/8まで)

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館1階エントランス
 浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館1階エントランス
 樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館1階エントランス
 考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
 法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館1階エントランス
 茶＝ボランティアによる応挙館での茶会、集合場所：本館1階エントランス(参加費500円、先着15名、開始30分前に集合場所で整理券配布)

庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー 集合場所：本館1階エントランス(先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
 英＝ボランティアによる英語ガイド(日本美術の流れ)、集合場所：本館1階エントランス
 建＝ボランティアによるたのめ散歩ツアー、集合場所：本館1階エントランス
 作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ「勾玉作り」(事前申込制。6/2の申込は締め切りました。7/14の詳細は本誌13ページ)
 月＝月例講演会、詳細は本誌12ページ

※屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。